

社団法人 日本ボディビル連盟
平成23年度 第2回総会議事録(抜粋)

- ◇ 日 時 平成24年3月18日(日) 午後3時開会
- ◇ 場 所 国立スポーツ科学センター 大研修室
東京都北区西が丘3-15-1 03-5963-0200

◇ 会長挨拶

日本ボディビル連盟の平成23年度第2回総会を開催致します。全国よりご参集頂き心より御礼申し上げます。今年の大きな目標は、公益の社団法人を設立することです。それに基づいて現在準備を進めておりますので皆様のより一層のご協力をお願い致します。

また、スポーツとしてのボディビル連盟は競技スポーツとして、これをますます発展させていき、昨年度は皆様のバックアップもありまして、国際大会で金メダルを4個、銀メダルを4個、銅メダルを2個、いままでの我々の歴史に無い大量のメダルを獲得しました。

ちなみにJOCからの強化資金と言うのはメダルの数が多いほど補助金も多くなります。柔道等はここのところちょっと不振ですが、ずば抜けて多く一億レベルの補助金を獲得しています。

そういう意味でこれからもボディビルの評価というものを高めるために金メダルを益々獲っていきたい。同時に生涯スポーツとしての健康づくりも推進したいと思っておりますので、皆様の一致協力をお願いして私からのご挨拶とします。

- ◇ 議長選出 玉利齊会長からの指名により吉田進副会長を選出。
- ◇ 議事録署名人の選任 議長より議事録署名人2名の選出を諮り、栗原信行正会員と松川洋一正会員を選任。
- ◇ 定足数の確認 正会員総数58名。本日出席正会員24名、委任状による出席正会員34名、合計出席正会員58名により、定款第5章第24条に定める2分の1以上の定足数を満たし、有効に成立していることが事務局より報告された。

【報告事項】平成23年度後期事業報告

1. 国内事業

- (1) 第23回日本マスターズボディビル選手権大会 (別掲収支決算書参照)

開催日：平成23年9月18日(日)

会場：東京都 江戸川区総合区民ホール (タワーホール船堀)

※結果については23年度臨時総会にて報告済み

- (2) JOC ジュニアオリンピックカップ 2011年第23回日本ジュニアボディビル選手権大会

(別掲収支決算書参照)

開催日：平成23年10月10日(月祝) 午前 会場：東京 メルパルクホール

出場選手数：16名

成績(ジュニア)	1位	竹内 大生	(東京)
	2位	三好 達朗	(香川)
	3位	小出 和史	(長野)
	4位	班目 陽一	(東京)
	5位	茂出木一真	(埼玉)
	6位	遠藤 勝弥	(静岡)

- (3) 2011年第6回全国高校生ボディビル選手権大会 (別掲収支決算書参照)

開催日：平成23年10月10日(月祝) 午前 会場：東京 メルパルクホール

出場選手数：7名

成績(高校)	1位	中曽根源太 (群馬・県立中之条高等学校)
	2位	畑山 翔 (大阪・龍谷大学附属平安高等学校)
	3位	田口 智也 (愛知・愛知工業大学名電高等学校)
	4位	金本 研一 (栃木・小山工業高等専門学校)

- 5位 牧 義史 (京都・龍谷大学附属平安高等学校)
- 6位 伊熊 公一 (静岡・県立浜松大平台高等学校)
- (4) 2011年第57回男子日本ボディビル選手権大会
2011年第29回女子日本ボディビル選手権大会
開催日：平成23年10月10日(月祝)午後 会場：東京 メルパルクホール
出場選手数：男子39名、女子28名
- | | | | |
|--------|----------------|------|----------------|
| 成績(男子) | 1位 鈴木 雅 (東京) | (女子) | 1位 山野内里子 (愛知) |
| | 2位 合戸 孝二 (静岡) | | 2位 今村 直子 (大阪) |
| | 3位 下田 雅人 (社会人) | | 3位 神田 知子 (大阪) |
| | 4位 山田 幸浩 (東京) | | 4位 清水恵理子 (東京) |
| | 5位 須江 正尋 (東京) | | 5位 相馬 貴子 (長野) |
| | 6位 谷野 義弘 (東京) | | 6位 佐々木あゆみ (静岡) |
- (5) 平成23年度JBBF公認指導員認定講習会
愛知県 ウィンクあいち
平成23年11月5日～6日
受講者総数 53名 1級 5名、2級 43名、補講 5名
- (6) 第33回ユニセフハンド・イン・ハンドに協力
平成23年12月23日(祝)14:00～16:30 恵比寿ガーデンプレイスにて
ボディビルゲスト出演 合戸孝二選手
連盟関係者のボランティアにて募金活動、並びに会場警備
玉利齊会長、藤岡秀樹理事、鳥谷部篤広報委員長、角田和弘氏、上野俊彦氏、西勝氏、佐々木仁史氏、以上が参加、感謝状が贈呈された。
- (7) 東日本大震災特別支援金について
全国の有志による支援金の入金状況と配分金額の報告
- | | |
|----------------------|------------------------|
| 第一回 6/13日までの入金額、 | 2,725,000円 |
| 第一回 JBBF 連盟関係者への配分金額 | 2,690,000円 (残金35,000円) |
| 第二回 11/28日までの入金額、 | 1,059,000円 (含む残金) |
| 第二回 JBBF 連盟関係者への配分金額 | 1,059,000円 |
| 合計入金及び支払金額 | 3,749,000円 |

2. 国際事業

- (1) IFBB 総会の報告 ムンバイ・インド 2011年11月6日
- ① 挨拶
 - ② 参加国の承認 (フィリピン・ネパール・サンマリノ・タイ)
 - ③ 新メンバーの紹介
 - ④ 会長の報告
 - ⑤ 会長アシスタント Fahim 氏の報告
 - ⑥ 事務局長 Tierney 氏の報告
 - ⑦ 副会長 Busek, Pollock, Manion, Desare, Graham, Sayed, Khalifa, Alayawan 各氏の報告
 - ⑧ ジャッジ委員会の報告
 - ⑨ 法務委員会の報告
 - ⑩ IFBB 女子の報告
 - ⑪ メディカル委員会の報告
 - ⑫ 財務報告
 - ⑬ エストニア世界クラシックの報告
 - ⑭ サンタ・スサナ世界ジュニア・マスターズ大会の報告
 - ⑮ 2012年アーノルドクラシック・オハイオの報告
 - ⑯ 教育委員会・アンチドーピング報告

- ⑰ 2012年世界選手権の報告
 ⑱ 2012年その他大会の報告
 ⑲ 各種表彰他
- (2) 2011年女子世界ボディビル、フィットネス、ボディフィットネス選手権大会
 開催日：2011年10月14日～17日 会場：セルビア：ノビサド
 参加国数： 38カ国 出場選手数： 149名
 監督 廣田 ゆみ
 ボディビル55kg以下級 6位 今村 直子 (大阪)
 ボディフィットネス168cm以下級 予選敗退 豊田 玲子 (個人)
 ボディフィットネス168cm以上級 予選敗退 浅田ふぢ子 (東京)
- (3) 2011年第65回世界男子ボディビル選手権大会
 開催日：2011年11月2日～8日 会場：インド：ムンバイ
 参加国数： 55カ国 出場選手数： 168名
 団長 玉利 齊 日本ボディビル連盟会長
 監督 吉田 進 日本ボディビル連盟副会長
 通訳 中野 慶 JOCマゼジメント強化スタッフ
 コーチ 村上 洋之 JOCマゼジメント強化スタッフ
 70kg級 5位 合戸 孝二 (静岡)
 80kg級 11位 鈴木 雅 (東京)
 80kg級 15位 下田 雅人 (社会人)
- (4) 2011年第6回世界男子クラシックボディビル選手権大会
 開催日 2011年11月17日～22日 会場：エストニア：タリン
 参加国数： 30カ国 出場選手数： 73名
 監督 朝生 照雄 日本ボディビル連盟選手強化委員会委員長
 168cm級 2位 鎌田 優 (東京)
- (5) 2011年第31回世界マスターズボディビル選手権大会
 開催日 2011年11月24日～29日 会場：スペイン
 参加国数： 50カ国 出場選手数： 185名
 監督 藤原 達也 日本ボディビル連盟副会長
 50才級クラシック 1位 片川 淳 (山口)
 65才マスターズ 6位 井原 茂 (社会人)
- (6) 2011年度アーノルドクラシックアマチュアボディビル選手権大会
 開催日 2012年3月1日～3日 会場：米国 オハイオ州コロンバス
 監督 吉田 進 日本ボディビル連盟副会長
 コーチ 村上 洋之 JOCマゼジメント強化スタッフ
 男子80kg級 4位 鈴木 雅 (東京)
 男子70kg級 6位 合戸孝二 (静岡)

参考：2011年メダル獲得数

	アジア選手権	世界選手権	国際大会メダル実績
金メダル	3個	1個	4個
銀メダル	3個	1個	4個
銅メダル	2個		2個
6位入賞	5名	4名	9名
12位入賞		1名	1名

以上、23年度後期事業が報告された。尚、日本マスターズ選手権大会の赤字分を少なくするようにとの意見があり、次年度は助成金事業として申請する旨の説明が事務局よりあった。

また、2.国際事業の(6)2011年度アーノルドクラシックアマチュアボディビル選手権大会の男子80kg級で鈴木雅選手が5位から4位に、70kg級合戸孝二選手が予選落ちから6位入賞に繰り上げされたことが朝生照雄選手強化委員長より報告があり修正した。

【第一号議案】 平成23年度補正予算の金額修正

第一号議案は、誤字修正について報告通り、全会一致で承認された。(別掲補正予算書参照)

【第二号議案】 平成24年度事業計画

1. 平成24年度 事業方針(期間:平成24年4月1日～平成25年3月31日)

今年度の事業方針は以下のとおりで、重要項目に基いて推進する。

- (1) 公益法人制度改革への対応 — 公益社団法人への移行
- (2) 日本体育協会への加盟
- (3) 国際競技でのメダル獲得
- (4) 財源の強化

2. 平成24年度 事業計画

- (1) ボディビルの普及及び振興
 - ① 公益法人制度改革への対応
 - ② 日本体育協会への加盟促進
 - ③ 日本連盟の各種主催大会実施
 - ④ 登録会員(選手・指導者・審査員、個人愛好者)の拡大
 - ⑤ 高齢化社会への対応策として、生涯スポーツとしてのボディビル普及
 - ⑥ 地方選手権、ブロック選手権大会に対する競技運営指導
 - ⑦ 全国高等学校体育連盟への協力要請
 - ⑧ 健康日本21国民運動(厚生労働省)への参画
 - ⑨ 地方連盟に対するボディビルクラブの加盟促進指導
- (2) ボディビル指導者の育成、指導並びに指導員資格の認定及び登録
 - ① 公認指導員講習会並びに認定試験の実施及び登録
 - ② ヘルスウエイトトレーナー講習会の検討
- (3) ボディビル競技の選手強化のための方策の検討
 - ① JOCジュニア特別強化選手の選考
 - ② 強化合宿の実施
 - ③ 財団法人日本オリンピック委員会の各委員会への参加
 - ④ ジュニア並びに高校選手権に女子部門の普及
 - ⑤ 障害者選手の普及及び強化
 - ⑥ 高校生選手の普及拡大
 - ⑦ 女子ボディビル選手の普及拡大
 - ⑧ フィットネス選手の普及拡大
- (4) ボディビル施設の認定及び登録
 - ① ボディビル施設の認定、登録の実施
 - ② ボディビル施設の運営向上のための検討並びに協力
- (5) ボディビルのトレーニング用機器、用品、食品等の検討と認定
 - ① 公認品、推奨品の認定

JBBF 男子公認トランクス、女子公認ビキニ（ポーキングスーツ）の認定

- ② トレーニング機器の安全性及び効果の研究
 - ③ 栄養補助食品について調査及び研究
- (6) ボディビルに関する刊行物の発行及び監修
- ① 公式ホームページの充実
 - ② ボディビル連盟レポートの発行及び内容の充実
 - ③ 認定ビデオ・DVD・刊行物の作成、監修
 - ④ ボディビルのトレーニング手引書の検討と作成
- (7) ボディビル競技会の公認審査員養成、資格の認定及び登録
- ① 日本連盟主催大会においてジャッジテスト並びにジャッジトレーニングの実施
 - ② 審査員指名の基礎資料となる個人別審査得点のデータベース作成
 - ③ 公認集計員の養成、認定と登録
- (8) ボディビル競技の日本選手権大会及びその他の主催選手権大会の開催
- ① 日本クラス別ボディビル選手権大会の開催 9/9 栃木県
 - ② ジャパンオープンボディビル選手権大会の開催 8/5 三重県
 - ③ 日本女子チャレンジカップボディビル選手権大会の開催 9/2 社会人
 - ④ ミス 21 健康美大会の開催
 - ⑤ オールジャパンミスフィットネス選手権大会の開催 8/12 宮城県
 - ⑥ オールジャパンミスボディフィットネス選手権大会の開催
 - ⑦ 日本クラシックボディビル選手権大会の開催
 - ⑧ 日本マスターズボディビル選手権大会の開催 9/16 実行委員会（東京・江戸川区）
 - ⑨ 全国高校生ボディビル選手権大会の開催 10/7 実行委員会（大阪）
 - ⑩ JOC ジュニアオリンピック日本ジュニアボディビル選手権大会の開催
 - ⑪ 女子日本ボディビル選手権大会の開催
 - ⑫ 男子日本ボディビル選手権大会の開催
 - ⑬ 主管連盟の決定 東日本ボディビル選手権大会の主管 9/23 新潟県主管
西日本ボディビル選手権大会の主管 8/26 愛知県主管
- (9) 我が国のボディビル界を代表して国際組織への参加
- ① I F B B 総会への出席 11 月 6 日～11 日
 - ② A F B F 総会への出席 6 月 1 日～4 日
- (10) ボディビル国際選手権の開催及び国際選手権への代表選手、審査員、役員の選考及び派遣
- ① 6 月 1 日～4 日 ウズベキスタン
第 29 回アジア女子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 14 回アジアミスフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
第 9 回アジアミスボディフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
第 14 回アジアジュニアボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 14 回アジアマスターズボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 46 回アジア男子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 4 回アジアクラシック選手権大会へ選手役員の派遣
 - ② 10 月 5 日～7 日 ポーランド
第 30 回世界女子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第 17 回世界ミスフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
第 10 回世界女子ボディフィットネス選手権大会へ選手役員の派遣
 - ③ 11 月 6 日～11 日 エクアドル
第 66 回世界男子ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣

- ④ 期間未定 開催地未定
第7回世界クラシックボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
- ⑤ 2013年3月 アメリカ
アーノルドクラシックアマチュアボディビル選手権
- ⑥ 期間未定 開催地未定
第32回世界ジュニアボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
第32回世界マスターズボディビル選手権大会へ選手役員の派遣
- ⑦ 8月12日 日本：宮城県
第11回日韓親善ボディビル選手権大会へ選手役員の派遣

(11) 助成金事業

- ① 公益財団法人日本オリンピック委員会 選手強化委託事業
(国際大会派遣)
- ② 独立行政法人日本スポーツ振興センター 振興くじ助成
ドーピング推進事業 (ドーピング検査)
- ③ 独立行政法人日本スポーツ振興センター 振興くじ助成
スポーツ大会等の開催事業 (ジュニア・高校生大会等の開催)
- ④ 独立行政法人日本スポーツ振興センター 振興くじ助成
スポーツ団体大会の開催事業 (日本マスターズ大会)

(12) 収益事業の検討および推進

(13) その他、この法人の目的達成並びに社会貢献に必要な事業

- ① ユニセフ等のチャリティへの全国規模による積極的な協力
- ② 他友好団体の主催事業に対する後援等の協力

以上の通り、活動計画の説明が事務局よりあり、全会一致で承認された。

【第三号議案】 平成24年度事業計画

第三号議案は、別掲の通り、承認された。

【第四号議案】 規程の改定

第四号議案は、別掲の通り、承認された。

【第五号議案】 新規加盟クラブ及び退会クラブ他について

1. 新規加盟クラブ

- | | | | |
|--------|-----------------------------|-----|---------------|
| (1) 所属 | ：日本社会人県連盟 (クラブ) | 受付 | ：平成24年1月24日 |
| クラブ名 | ：アルソア・ドゥ・ルミエール雅 (準加盟) | 設立 | ：平成10年4月1日 |
| 住所 | ：北海道札幌市北区北七条西1-11-804 | 電話 | ：011-717-3003 |
| 代表 | ：根津 綾 (指導員資格なし) | 指導員 | ：なし |
| 入会金 | ：なし、月会費：なし | | |
| (2) 所属 | ：日本社会人県連盟 (クラブ) | 受付 | ：平成24年2月17日 |
| クラブ名 | ：NTT-BA東日本ボディビルクラブ (準加盟) | 設立 | ：平成24年1月20日 |
| 住所 | ：東京都大田区大森北2-1-1 アーバンネット大森ビル | 電話 | ：03-5767-8435 |
| 代表 | ：原 哲矢 (指導員資格なし) | 指導員 | ：なし |
| 入会金 | ：なし、月会費：なし | | |
| (3) 所属 | ：宮城県連盟 (クラブ) | 受付 | ：平成24年2月27日 |
| クラブ名 | ：ライフフィットスポーツ (準加盟) | 設立 | ：平成23年11月7日 |
| 住所 | ：宮城県柴田郡柴田町上名生字新大原194-1 | 電話 | ：0224-57-0850 |
| 代表 | ：阿部 勉 (指導員資格なし) | 指導員 | ：なし |
| 入会金 | ：8,400円、月会費：8,400円 | | |
| (4) 所属 | ：宮城県連盟 (クラブ) | 受付 | ：平成24年2月27日 |
| クラブ名 | ：チバフィットネスクラブ (正加盟) | 設立 | ：平成24年2月16日 |
| 住所 | ：宮城県栗原市築館字照越神田7-14 | 電話 | ：0228-22-4334 |
| 代表 | ：小野寺 稔 (指導員2級) | 指導員 | ：高橋順子 (2級) |

入会金：5,000円、月会費：8,400円

- (5) 所属：東京連盟（クラブ） 受付：平成24年3月1日
クラブ名：フィットネスクラブ東京ドーム（正加盟） 設立：昭和56年3月31日
住所：東京都文京区後楽1-3-61 電話：03-3817-4001
代表：鈴木 茂之（指導員資格なし） 指導員：佐々木仁史（1級）
入会金：なし、月会費：10,000円

2. 退会クラブ

- | | | | |
|-------------|------------------|---------|-----------|
| (1) 千葉県連盟 | スポーツジムアクロス | 田崎二郎代表 | 退会（閉鎖） |
| (2) 福岡県連盟 | トレーニングクラブ甘木 | 柿原喜久雄代表 | 退会（閉鎖） |
| (3) 広島県連盟 | 竹原トレーニング | 浜本清司代表 | 退会（閉鎖） |
| (4) 日本社会人連盟 | 手塚住宅設備ボディビルクラブ | 手塚正禧代表 | 退会（閉鎖） |
| (5) 日本社会人連盟 | TDKボディビルクラブ | 大野国土代表 | 退会（閉鎖） |
| (6) 徳島県連盟 | AOKスポーツクラブ | 山尾進也代表 | 退会（運営は継続） |
| (7) 大分県連盟 | いづみトレーニングセンター同好会 | 泉雅夫代表 | 退会（運営は継続） |
| (8) 神奈川県連盟 | 遠藤ジム武蔵小杉 | 遠藤克弘代表 | 退会（閉鎖） |
| (9) 東京連盟 | スーパージムオリンピア | 竹石康照代表 | 退会（閉鎖） |
| (10) 東京連盟 | スターライトジム | 星善巳代表 | 退会（閉鎖） |

3. その他 変更

- | | | |
|-------------|----------------------------------------------------|---------|
| (1) 東京連盟 | 大森ボディビルセンター（代表者変更）
佐々木隆氏から北岡健太郎氏へ | 2月5日申請 |
| (2) 東京連盟 | 成増トレーニングセンター（代表者変更）
重村尚氏から、堀井由人氏へ | 1月17日申請 |
| (3) 京都府連盟 | アキレストップジム（代表者変更）
中尾尚志氏から、荒牧友宏氏へ | 4月1日より |
| (4) 宮城県連盟 | 齋藤高史代表（クラブ名称変更）
K&Bスポーツジムから、THEZENCLUB K&B GYMへ | 1月31日申請 |
| (5) 日本社会人連盟 | 若松小学校ボディビルクラブ（名称変更）
蒲原西小学校ボディビルクラブへ | 3月14日より |

第五号議案は報告通り、全会一致で承認された。

【第六号議案】 未収金についての対応（内訳省略）

1. 大分県 231,000円
2. 高知県 90,000円
3. 兵庫県 90,000円

第六号議案は保留とし、事務局として請求を続けることとなった。

その他 運営に必要な事項の検討及び報告

【その他検討事項】

1. 新法人移行の定款変更・規程制定・役員選考について
次回総会まで、内容の確認をお願いした。

【その他報告事項】

1. 正会員の変更について

福井県連盟より申請 前正会員 小西正純氏
新正会員 堀井達之氏

正会員の変更について、報告通り、全会一致で承認された。

2. 女子公認ビキニのサイズと色の報告

報告通り、全会一致で承認された。

3. 日本マスターズ大会での順位繰り上がりについて

23年度ドーピング陽性(内藤隆之選手)が決定し、3位の新井弘道選手が2位に繰り上がり3位は空位となる。

報告通り、全会一致で承認された。

4. 報奨金授与の日時について 報奨金規程第3条では年度末の支給。

報告通り、全会一致で承認された。

5. 他団体より移籍選手について

①宮崎県連盟 下川原 達也 セントラルジャパンボディビル大会出場

②大阪連盟 高栄 佐規子 JPC ザ・コンテスト出場

報告通り、全会一致で承認された。尚、山口県の選手は以前にJBBFの大会に出場していた為、移籍ではなく復帰申請を提出することとなった。

6. 大会の決勝フリーポーズで選手が使用する音楽について

社団法人日本音楽著作権協会(JASRAC)との協議報告

平成24年度より各県連盟に請求があることが、大会会場、収容人数、時間等により金額が算出されることと、CDのコピー編集は出来ないことが報告された。

7. 国際審査員の取得

市川櫻 1級審査員 アジア選手権(2011年7月25~29日)にて国際審査員テストで合格上記の通り、報告された。

8. アーノルドアマチュア大会報告

上記の通り、報告された。

9. 平成24年度JBBF公認指導員認定講習会

東京 国立スポーツ科学センターにて

平成24年12月1日(土)~2日(日)に開催予定

上記の通り、報告された。

10. 磯野武夫理事他より玉利齊日本ボディビル連盟会長に対する22項目の質問書について

1) 理事会冒頭磯野武夫理事より22項目を全部審議するのは限られた時間では難しいので、最重要と思われるものを質問者が選択して審議する要望が提案された。

それに対し玉利齊会長から質問されたのは、日本ボディビル連盟なのであるから会長の判断として回答するのが当然であるとし、大多数同意する。

2) 玉利齊会長は22項目の根幹をなすと思われる質問は、

①玉利齊への会長報酬金200万円の支払い問題。

②報酬金とスポンサー謝礼金と重複した二重の支払いと指摘している問題。

③それらが不正であると文部科学省が断定している問題の3点、であるとして、それらに対し以下のような説明をした。

◇ 玉利齊会長の説明

磯野武夫氏より、私(玉利齊)及び社団法人日本ボディビル連盟関係者に送られた文書についてご説明致します。

私(社団法人日本ボディビル連盟会長)に対する質問は22項目に亘るものなので、質問の根幹をなすと思われる代表的なものに対してご説明致します。

第1に、200万円の役員報酬の件は、従来支払われていたスポンサー紹介の謝礼として20%を賃金の名目に変更し、会長に限り役員報酬として支払う提案を平成22年6月6日の平成22年度第1回理事会総会で諮って満場一致で承認されました。

第2に、社団法人発足当時の規程(選手権大会実施規程第31条スポンサー紹介の謝礼)で定められていた紹介料の20%が新公益法人の方向性では不適切であるので、各人の働きに応じて賃金もしくは役員報酬にすることが新たに定められたので、それに基づき支払われたものです。従って、重複して受け取った事実は絶対にありません。

第3は、磯野武夫氏以下4名が文部科学省に平成23年12月21日に出向き、私(社団法人日本ボディビル連盟会長玉利齊)への役員報酬の支払いは不正支出であると文科省が言っていると主張しているが、そのような事実はありません。

文部科学省が仮に磯野武夫氏以下4名の者をJBBFの代表者として指導したのであれば、文部科学省が磯野武夫氏に指導した内容の公文書(公印が押印)が発行されます。事実は、そのようなものを文部科学省は発行しておらず、JBBFもそのような公文書は受け取っておりません。

私への役員報酬に関しては、慣例により文部科学省が実施した実地検査(平成23年8月24日)の時に、理事会・総会での承認事項だが、役員報酬規程を整備するようにと指示があり、JBBFはただちに作成すると回答しました。その後「改善を要する事項」として公文書の通知がありましたが、不正支出との記述は全くありません。

JBBFは新公益法人申請に向け、定款及び全ての諸規程を見直して不備なものは整える旨、文部科学省へ回答し、了解を得ております。

以上、磯野武夫氏等の指摘する質問書の諸項目はすべてコンプライアンスに則り、理事会・総会の議決により実施されたものであることを申し上げます。

いづれにしても、JBBFの理事が執行部に不正があるが如き文を作成し、全国に配布し、自分たちの主張を文部科学省が支持し、行政指導を行ったと虚偽の報告をしていることは、悪意に満ちた組織に対する重大な背信行為とおもわれます。

3) 以上の玉利齊会長の説明により、磯野武夫理事は①の問題点は文部科学省が不正と断じていると明言している根拠がなくなった。

②の問題点については二重払いの事実が全く無いことを磯野理事は了承した。

③については自分(磯野武夫氏)が言ったことではなく、文部科学省が言ったことであるとしたが、それならば文部科学省が行政指導をJBBFに対して行った確証を示すべきであるということになった。尚、現在JBBFは文部科学省からそのような公文書は一切受け取っていない。

結論、JBBFを代表する玉利齊会長に対し、確証も無く推察だけで、不正であるかのごとき文書を全国の理事・正会員・公認クラブに対して配布した行為に対して如何なる責任をとるのかと玉利齊会長は詰問したが、回答及び今後の行動によってJBBFは然るべき対応をするのが今後の問題とすると玉利齊会長が言明した。

また、理事会で自分(磯野武夫氏)の質問を拒んだ藤岡秀樹弁護士と質問を受け付けなかった玉利齊議長に謝罪を求めた発言に対し、「玉利齊議長が定款13条に値しないといっていることに私どもは判断を下しておりません。議長の許可があれば質問できることになっているので、それを拒否しても問題ありません」と文部科学省の担当者が小西康道事務局長に言明していることを説明した。

以上で総会は終了した。

【事務局連絡】

次回理事会・総会は、平成24年6月17日(日) 国立スポーツ科学センターにて開催予定。